

平成 24 年度第 1 回北海道立図書館協議会会議概要

日 時：平成 24 年 7 月 13 日（金）

会 場：北海道立図書館 会議室

出席者：協議会委員 9 名、道立図書館職員 14 名

傍聴者：なし

議事等

1 議題

- (1) 平成 24 年度業務実績について
- (2) 北海道立図書館事業推進計画について（達成状況）

2 報告

- (1) 新「北海道立図書館事業推進計画」（素案）について

3 その他

会議概要 （○～委員の発言 ・～道立図書館職員の発言）

1 議題

- (1) 平成 24 年度業務実績について
金山利用サービス部長説明

（資料：「平成 23 年度北海道立図書館業務実績報告書」）

○ 平成 23 年度の業務実績報告書には目標値と実績値が記載されているので、成果等がとともわかりやすいが、2p「(1) 協力貸出しの推進」の貸出冊数について、その根拠がわかるような表があるとよい。

○ 教育行政の立場から、市町村活動支援事業として盛り沢山の事業をしてもらっていて、非常にありがたく感謝申し上げたい。国は学校図書の整備に関して普通交付税交付金で更に 5 年間措置することになっているが、学校自体は図書をどのように整備しているのか理解していないところがある。現地に出向いてアドバイスをする学校図書館環境改善事業（3p「子ども読書活動支援」）は非常にいい事業だと思うので、更にこの事業の充実を図ってほしい。

・ この事業は 5 年くらい前に始めたもので、要望が多いので少しずつ実施市町村数を増やした。学校、教育委員会（図書館を含む。）も入って共同で実施するという形をとっている。

○ できれば財政担当も入って一緒に行っていきたい。

○ 学校関係の図書館に対するアドバイスの例などは、どのように情報提供をしているのか。

・ 『あけぼのつうしん』などで紹介している。

- ・ 学校図書館との連携で特徴的な事例を調査研究した報告書について、ホームページに掲載している。
- 4p「図書館活動重点サポート」事業について、天塩町に2年間継続してサービスしているが、事業が終了した24年度以降の利用者数・図書費等について、追跡調査をしてほしい。
 - ・ 今後も天塩町と連絡を取りながら、例えば『あけぼのつうしん』等で紹介していきたい。
 - 図書費の増額に繋がるのが一番嬉しいが、道立図書館だけに依存するという状況にならないよう、願います。
- 4p「(4) 図書館関係情報の提供」の『あけぼのつうしん』について、いつも楽しみに読んでいるが、年度末近くの発行が多いので季刊等、定期的に発行してほしい。
- デジタルライブラリーについてアクセス数が12万件を超えていて(6p「(6) デジタルライブラリーの充実」)、すごいと思う。是非これからも継続してほしい。
 - ・ 昨年度は住民生活に光をそそぐ交付金事業を活用し、それまでの倍程度掲載したので、アクセス数も非常に増えた。今後は職員ががんばりたい。
- 7p以降に記載されている研修事業(「(1) 研修会の開催」)については目標値の設定がないが、例えばアンケートによる評価を目標値にするという方法もあるのではないかと。
- 10p「(2) 組織・機構の見直し」のところで、2行目「再度、組織機構整備の検討が必要となる。」とあるが、これは何を想定しているのか。
 - ・ 子ども読書活動の推進に係る事業等の拡充の状況によっては、そういった検討も必要となるということである。
 - ・ 館全体の人数の増減ではなく課の人数の異動が、場合によってはあり得るということだ。
- ・ 昨年度の協議会でご意見をいただき、今回は報告書の体裁を変えたが、どう思うか。
- 以前の体裁よりとてもわかりやすいと思う。先程分析されたように、なぜ、目標値に達しなかったのか、次の業務を進めていくときにもはっきりわかった方がいいと思う。
 - 今回の業務実績は、今までになく資料とメインに分けられて、非常に見やすくなったと思う。
 - ・ 今、ご指摘いただいたことを含め来年度からの報告書を考えたいと思う。

(2) 北海道立図書館事業推進計画について（達成状況）

千田総務企画部長説明

（資料：「北海道立図書館事業行動計画」）

- 達成状況欄の「◎」は（完了）となっているが、仕事をやったという意味か。あるいは、予定していたことが平成 23 年度に全て終わったという意味か。
 - ・ 基本的には当初予定していた事業について実施したということである。
- 完了というと終わったことになるので、実施の方がよい。

2 報告

(1) 新「北海道立図書館事業推進計画」（素案）について

鈴木北方資料室長説明

（資料：新「北海道立図書館事業推進計画」平成 25 年度～29 年度（素案））

- 推進計画の原案は、次回協議会が開催される 11 月にはできているのか。
 - ・ それまでにはできていないといけませんが、その後、広く道民の意見を聞くなどして、12 月末頃には案を作成し 3 月に決裁、4 月から施行の予定である。
- 2p「2 国や道を取り巻く現状」に、北海道は子どもの学力が低く北海道教育委員会の政策課題として、平成 26 年度の全国調査までに「全国平均以上」にするという目標を掲げている。これについて、図書館としてどう対応するのかという考え方があってもよいのではないか。
 - ・ 本庁と一緒に作成しているので、こういう形になっているが、5p 以降の「第 2 章 北海道立図書館の目指す方向について」で説明している。
 - ・ 道教委の政策では、直接的な学力と、読書については読書習慣の定着など家庭での役割を両輪としてやっていくとしている。道立図書館としては、子どもの読書活動の定着を目指す施策を市町村がやることに対して協力するということになると思う。
- 2p「(2)北海道教育委員会の主な政策課題」について、アの「生活習慣の定着」とイの「読書習慣の定着」を関連づければ、読みやすくなると思う。
- 「第 2 章 北海道立図書館の目指す方向について」の中で、アとイを結びつけて道立図書館としてはこうするという一文があると、道教委の方向性として見えると思う。
 - ・ もう一度、本庁と打ち合わせ、文言等の整理をしたいと思います。
- 4p「4 北海道の図書館の現状」の(1)と(2)の書きぶりに違いがある。(1)の括弧書きは設置率で全国比ではないが、(2)の括弧書きは全国比となっているので、どちらかに統一した方がいい。また、(1)の 5 行目に「図書館・図書館類似施設の多くは」とあるが、何割など具体的な数字を示した方がいい。
- 7p「施策目標 1」の「1 現状」の 2 行目、「設置率は…町村だけでみると、43.8%です。」とあるが、それだけでは多いのか少ないのか分からない。また、5 行目に「公民

館図書室等を支援することが欠かせません」とあるが、図書館支援が入っていない。前提として図書館を支援するということがないと、公民館図書室を支援することだけに視点を置いているように見える。

- ・ 図書館の支援が前提としてあるのだが、その説明を入れる。

3 その他

○ 道立図書館のホームページをよく使うけれども、北海道雑誌新聞総合目録のページを開くと PDF ファイルで『北海道立図書館所蔵新聞目録』がある。これは平成 14 年から更新されていないが、更新する予定はないのか。道立図書館のホームページは面白いので利用しているのだが、ほかにも更新していないところがある。

- ・ 宿題として承るが、実際のところ新聞の数が飛躍的に増えているということはないと思う。

○ 『北海道立図書館所蔵新聞目録』には、北海道雑誌新聞総合目録に出ていないユニークな雑誌なども載っているのだから、更新についてよろしくお願ひしたい。

○ 『北海道立図書館所蔵新聞目録』は冊子体でも発行しているが、PDF ファイルがホームページに載っていれば各自で印刷することができ、紙媒体の発行物より時間的にも効率的なので、是非検討してほしい。

○ 道立図書館が目指しているものに関して、ホームページのどこを見たらわかるか、インデックス付けして情報発信してもらえるといいと思う。道立図書館のホームページは以前と比べ非常にきれいになって豊富な情報が出ているのだが、例えば学校図書館関係について調べたいと思っても、テーマ別に整理されたものがないので、どこかに出ているかも知れないという程度で探している。折角出している情報なのだから、もっと有効に見てもらった方がいいと思う。

また、実施した事業について、時間が経ってもホームページに記事が継続して載っているような情報の伝え方を、是非やってもらいたい。

- ・ いろいろな情報を見やすく、あるいは実施した事業を道民に知らせる工夫が必要だと思うので、改善していこうと思っている。

(情報提供等)

(1) 北海道立図書館所蔵雑誌創刊号目録について

金山利用サービス部長説明

(資料：標記目録発行のちらし)

(2) 北方資料室資料展示「舞台は北海道」について

鈴木北方資料室長説明

(資料：標記展示開催のちらし)

(3) 「北方資料室ニュース」について

鈴木北方資料室長説明

(資料：標記ニュース)

(4) 協議会委員の改選について

千田総務企画部長